

毎週 水曜発行  
(8月から週 1 回発行となりました)

# 復興ニュース

37号  
2011年  
8月10日

発行：気仙市民復興連絡会  
大船渡市末崎町字石浜 34-1  
<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp/>  
Twitter @KesenShiminFR  
<https://www.facebook.com/kesenfukko>

## 盛町灯ろう七夕まつりの“裏方さん”たち。

この先週末は、気仙地域各地で七夕まつりが開催されました。陸前高田市高田小学校では“うごく七夕まつり”、気仙町では“けんか七夕”、大船渡市盛町では“盛町灯ろう七夕まつり”が行われました。気仙町の“けんか七夕”は例年4基の山車をぶつけ合う勇壮なお祭りでしたが震災で3基が流失してしまい、地元住民たちは残った山車を一緒に引き合い、まちと祭りの復興を願ったそうです。高田町の“うごく七夕まつり”では、津波で被災した山車6基が色鮮やかな飾りをまとい集結し、4時間にわたり太鼓の笛の音が市内に響き渡りました。大船渡市盛町の“盛町灯ろう七夕まつり”では慰霊祭も兼ね、9基の山車が灯籠の光を放ち商店街を引き練歩きました。それぞれの山車には『復興元年』『津波なんかに負けないぞ』『絆』などが書かれており、復興への前向きな気持ちが強く滲んだ特別なおまつりとなりました。



“不屈の魂”  
田茂山の山車と子供たち



コープあいちの露店

NPO 愛知ネットは、盛町夏まつり委員会を後援。安城七夕まつりとの連携、安城学園(願いごと短冊コーナー、願いごと風船受付)、愛知淑徳大学(愛知からの手作りミサンガの配布、わたがし、水風船コーナーなど運営)の学生ボランティアさん、これまで避難所などでの炊き出し活動を主に共に活動してきた地元団体“椿の里・大船渡ガイドの会”(あいち♡大船渡 お茶っこ横丁での無料休憩所運営・お茶出し、支援タオル配布活動)や“けせん・まちの保健室”(救護班活動)、炊き出しでは食材提供で多大なご協力をいただいた“生活協同組合コープあいち”(愛知♡友情♡さかり町横丁での焼き鳥、いかぼっぼ、名古屋名物ひつまぶし提供他)も盛町灯ろうまつりでは“裏方さん”として活動しました。2日間とも猛暑となりましたが、汗をいっぱいかいて楽しみながら過ごしました。みなさんありがとうございました。



愛知淑徳大学の学生ボランティアさん



『ひつまぶし完売御礼!』コープあいちさん



椿の里・大船渡ガイドの会のみなさん



安城学園の学生ボランティアさん



S35 年同級生の会のみなさん(リアン“絆”)



オールハンズボランティアのみなさん

盛町夏まつり実行委員会は、開催を懸念する声も受けていましたが、地域の未来を担う子どもたちが楽しみにしているという声、そして先祖をお迎えする意味、さらにこういう時期だからこそ開催したいという声をも受け、熟慮した結果開催を決定されたそうです。

## [三陸海の盆、送り火]へ、線香花火と打上げ花火が寄贈されました。

([三陸海の盆、送り火])は、8月16日(火)19:00~大船渡市末崎町門之浜海岸で行われます)



線香花火・・・昭和50年以降中国から安い線香花火の輸入が多くなり、信州に続いて岡崎市の業者も店を閉じて日本の線香花火は姿を消しましたが、「日本の線香花火を消してはならない」と奮起した方々の苦勞により、平成12年に「大江戸牡丹」とし、ついに純国産の線香花火が再発売。この復興線香花火である「大江戸牡丹」と「徳川牡丹」が発売元「(株)山懸商店(東京都)から(株)東海新報社を通して寄贈されました。

打ち上げ花火・・・こちらも、(株)東海新報社を通じて、愛知県安城市の石川煙火(資)から40本の寄贈を受けました。製品のひとつ「あまのこ」は、最初に点滅の光が花束状に広がり、約20m上空で星が出て、大きく広がって垂れ下がり、最後に青色に変色するそうです。どちらも、8/16の三陸海の盆、送り火で利用することになっています。楽しみですね。

## 麻の実油を燃料にした自動車、ヘンプカー 8月15日、三陸と陸前高田へ!



ヘンプカーとは、植物油の一種である麻の実油を燃料にした自動車のこと。その自動車が、三陸と陸前高田に立寄ります。麻の可能性を知ること、復興と新しい未来を切り開く糸口になる、未来の地球が、子どもたちにとって住みよい環境になるよう願って!

当日は講演会が行われます。講師は縄文エネルギー研究所長中山康直氏とNPO法人バイオマス産業社会ネットワーク理事 赤星栄志氏の両名です。

### ◆ 三陸会場

- ・日時 8月15日(月)15:00~17:00
- ・場所 三陸町越喜来西区公民館(診療所道路向)

### ◆ 陸前高田会場

- ・日時 8月15日(月)19:00~
- ・場所 陸前高田市米崎町・大和田さん宅(歯科医院)  
Tel.090-7936-4489

### 【主催】

ヘンプカー・プロジェクト2011

### 【世話人】

河内山和子(越喜来タマゴ屋)

Tel.0192-44-2044

### 【後援】NPO法人夢ネット大船渡

## 広島企業の企業からの大釜(大鍋)寄贈

—広島県の大和重工(株)から大船渡市赤十字奉仕団へ—

7月2日、秋田県中仙赤十字奉仕団25名が大船渡地区公民館の避難者へ、「きりたんぽ」150食の炊き出しを行いました。その際に、大釜を製造した大和重工(株)の藤井東京営業所と河部氏が訪問し、大船渡市赤十字奉仕団(志田賢一会長)へ大釜2つの引き渡しが行われました。これは一度に800食を作ることができるものです。



(※中村和司氏からの投稿をもとに一部編成しました)

## “動作法”を用いた心身のケア活動 — マッサージともストレッチとも違う心身リラックス療法 —

NPO 愛知ネット臨床心理士チームは、いわて動作法チームと連携しながら、4月から主に週末に避難所を共に巡回し、身体と心を軽くしていただくため活動を続けています。

災害後の心のケアは、言葉によるカウンセリングだけでは限界があることから、動作法の先生方の指導のもと軀幹のひねりなどを行い、身体を解しながら対話をする事で心身に溜まったものを吐き出してもらい、身も心も軽くなっていただければと考えています。

8/8(月)午前中は大船渡市の地ノ森団地仮設住宅、午後は住田町中上団地仮設住宅を訪問、午前午後それぞれ住民同士の交流の時間も設け、お茶っこを楽しんでいただきました。



地ノ森団地仮設住宅での様子



住田町・中上団地仮設住宅での様子

## 木工作に挑戦してみませんか。 — 陸前高田市・杉の家はこね —



必要な木材や道具は揃っており、職人さんからアドバイスを頂ながら製作可能。お気軽にお問い合わせください。

また、下記の期間中は夏休みの子ども向けに小・中学生を対象とした木工指導(要事前予約)も行っています。

【期間】～8月16(火)まで(※8/10は休館日です)

【時間】9:30～15:00

【参加費用】木工作室使用料 300 円(材料費別途)

予約/申込み先…陸前高田市・市民の森 杉の家はこね(小友町字茗荷 1-1)Tel 56-2153

## “きらりんきっず”は今日も元気に活動中!

8/1(月)、高田町鳴石にあるカフェフードバーわいわい仮設店舗を間借りして活動再開を果たした“きらりんきっず”。

先日訪問した際には、早速親子のほっと一息つける場として賑やかな時間が流れていましたよ。子育て中の親御さん、お子様と一緒に気軽に遊びに行ってみてくださいね。

【場所】陸前高田市高田町字鳴石 48-4  
カフェフードバーわいわい仮設店舗 内

【時間】月曜・金曜が 10:00～正午まで、火曜・木曜が 10:00～15:00 までです。



6/14(火)に三陸中部森林管理署前の道路脇花壇にまいたヒマワリの種。私たちは“復興祈念ひまわり”と名付けました。そしてつい先日、

第一号の花が咲きました! さっそくミツバチが止まっているのも発見! 大きくて色鮮やかな緑色の葉をたくさん付け、背の高いものだと 150cm くらいまで伸びました。潮に浸りヘドロにまみ



れた土でも、こうして立派に成長したのです! まだ 1 つしか花開いていませんが、きっと間もなく黄色い花一面になりますよ! 約 100 本のひまわり畑、ぜひ観に来て下さいね!



↑ 看板設置しました

更生保護女性の会、椿の里・大船渡ガイドの会、もさばロハス倶楽部

# — 編集後記、徒然 —

気仙市民復興連絡会 広報担当: やまぐちなみ

## 被災地でのパチンコ…、あなたならどう思いますか。

『被災地でパチンコだなんて不謹慎だ!』、『パチンコするお金があるなら義援金を!』  
『全国から支援に来てもらっているのに、パチンコ店がいつも満車…恥ずかしい』等の声、またそれとは反対に『避難生活で息が詰まる、たまには息抜きしたい』『娯楽は必要だ』などの声もあり賛否両論あります。正直、私自身も5月に岩手に入り、内陸のパチンコ店が何事もなかったかのように営業していて、そこにある満車の光景を見て少しガッカリしたのを覚えています。ただ、今回の取材でわかったことは、【そこで働く人たちも被災していた】ということ…。そして見方が少し変わったということ…。

佐藤美沙さん、店長の工藤敦史さん、佐藤亜紀さん



『明るく前向きに毎日がんばっています!』

家を流されて避難所から通うスタッフもいました。子を持つ母親もいました。津波で多くの友人を失くした人もいました。みなさん生活のために、必死で働いています。そこにお客さんがいることで成り立っているのです。今回お話を聞かせていただいた大船渡セントラル店長の工藤敦史さんは“町の復興のために、少しでも力になりたい”との思いを常に持ち続けています。陸前高田や気仙沼で被災した店舗のスタッフを大船渡に呼び寄せ再雇用し、職も希望も失くした人の生活を支えることを震災直後に決断。また、毎日ボランティアセンターへ人材投入も行いガレキ撤去などの活動も。また今月20日の灯籠流しでは回収作業への人材投入もする予定とのこと。この復興ニュースに関しても印刷機故障で発行が危ぶまれた7月上旬、情報をいち早く察知し『うちの印刷機を使ってください!』とご連絡いただき助けていただいたことで無事に発行し皆様にお届けすることもできました。

陸前高田で被災した佐藤美沙さん(27)は9歳男児の母親。『店長が雇用してくれてなければ今頃どうなっていたかわからない。お陰で子育てだって続けられるし生活できています。本当にありがたいです。』とコメント。また、独り暮らしをしていたアパートが全壊した佐藤亜紀さん(31)は、黒い津波を見て車を乗り捨て高台へ逃げた時折涙を浮かべながら話してくれました。若い彼女たちに衣服を提供したのは業界の同友会、常連だったお客さんは『だいじょうぶか?』と、自らのことは二の次に心配して大船渡まで会いに来てくれたそうです。色々たくさん失ったけれど大船渡で、元気づけてくれる新しい仲間との出逢いも生まれ…。数々のドラマがありました。被災地でのパチンコ…、賛否両論あるのは当然だと思いますが、そういった実状も存在しているのだと知ったことで、賛成でも反対でもなく、5月に感じた“ガッカリした気持ち”とは違い、私個人的には応援したい気持ちになりました。

— あなたなら、どう思いますか。

## 連絡会からのお知らせ

気仙市民復興連絡会では気仙地域における活動団体等の情報収集・発信(助成金情報提供等)を行っています。情報を発信したい等、相談等の窓口としてお気軽にご利用下さい。

広報活動のお手伝い(取材)も行かせていただきます。お気軽に広報担当までお尋ねください。

### ◆ 本紙(復興ニュース)の入手方法についてのご案内 ◆

発行は毎週火曜・金曜日です。配布(掲示)場所は下記のとおりです。(8/10 現在)  
御協力いただいている店舗さま・関係者各位さま、いつもありがとうございます。

#### 【復興ニュース配布場所】(順不同・敬称略)

(陸前高田市) 陸前高田市役所(1階ロビー)／瀬沢団地仮設住宅(モビリア)全60戸  
マイヤ米崎出張販売所・相野果樹園跡(お花コーナーの後方)

(大船渡市) 大船渡市役所([受付]から左に進んだ左手棚)／カメラアホール[大船渡市盛町](1階ホール)  
大船渡地区合同庁舎(1階ロビー、1階売店)／大船渡社会福祉協議会(ボランティアセンター)  
サン・リア(1階昇りエスカレーター横の棚)／リアスホール[大船渡市](警察官詰め所横の棚)  
薬王堂大船渡盛店(レジ裏お知らせコーナー)／薬王堂大船渡店(レジ横L字カウンター端)  
マイヤ大船渡インター店(レジ後方ガラス窓沿いのカウンター)／YSセンター(情報コーナー)  
福祉の里(情報コーナー1階ロビー)／喫茶・ロリアン[盛町]／ダイマル店頭[盛町商店街]  
佐々木荒物店(レジ横[大船渡市盛町商店街])／千田薬局[三陸町綾里]  
地ノ森団地仮設住宅 全72戸／鳥沢団地仮設住宅(蛸ノ浦小学校) 全47戸／  
黒土団地仮設住宅(綾里中学校) 全90戸／永沢仮設住宅(大船渡中学校) 全137戸

(住田町) 住田町役場／住田町仮設住宅 [本町団地全17戸／中上団地全63戸／火石団地全13戸]  
住田町ボランティアセンター(大股地区公民館)

[復興ニュース]第37号 2011.8.10.

発行 : 気仙市民復興連絡会

Tel&Fax 0192-47-3271

携帯: 080-2801-5352(呼)または広報担当/090-5456-9417(山口<奈>)

[kesenshimin.f.r@gmail.com](mailto:kesenshimin.f.r@gmail.com) <http://kesen-chiku.ecom-plat.jp>

【印刷ご協力】住田町役場 …ありがとうございます!